

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年 5月24日現在

機関番号：17102

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2009～2011

課題番号：21720122

研究課題名（和文） 東アジアにおける白居易受容の諸相と日中独自文化の形成に関する研究

研究課題名（英文） Study on the formation of their own culture during the Japan and China in East Asia: Some Aspects of the receptor Bai Juyi

研究代表者

陳 翀 (CHEN CHONG)

九州大学・人文科学研究院・専門研究員

研究者番号：50457412

研究成果の概要（和文）：本課題研究は、日本に現存する旧鈔本を中心に、東アジアにおける白居易研究の変遷史及び『白氏文集』受容史を体系的に跡付けつつ、日中間において異なる白居易学が形成された最も根源的な原因を明らかにし、さらに東アジア漢籍交流史という観点から、日中独自文化の形成における経緯を整理し、その背景にある両国知識人の文学観・歴史観・価値観の異同を見極めようとするものである。なお、本研究により取得した成果は、日本の学術誌のみならず、中国の主要な学術誌にも多く掲載、或いは転載されている。こうした成果を収録した報告書『東アジアにおける白居易受容の諸相と日中独自文化の形成に関する研究』を刊行し、国内外の関係機関・研究者に配布することで、広く共有すべき東アジア書籍交流史の参考文献を活用しやすい形で提供した。

研究成果の概要（英文）：This subject research systematically the history of changes and the history of "white Mr. collection-of-works" acceptance of the Bai Juyi research in East Asia centering on the old extract which is existing in Japan Marks attachment, The origin cause by which different Manabu Bai Juyi among Japan and China was formed is clarified, and also from a viewpoint of the history of the East Asia Chinese-books exchange, the circumstances in formation of original culture tend to be arranged in the daytime, and it is going to discern the difference of the literary view, historical view, and sense of values of the both-countries intellectual who serves as the backdrop.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2010年度	700,000	210,000	910,000
2011年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
総計	2,600,000	780,000	3,380,000

研究分野：中国文学・東アジア文化交流史

科研費の分科・細目：各国文学・文学論

キーワード：東アジア 漢籍交流史 白居易 白氏文集 文選 旧鈔本 域外漢籍

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 日本漢籍受容史及び東アジア漢籍交流

史に関する研究、特に日本に現存する仏教資料、古記録（公家日記）、古文獻などを対象

とする総合的な研究は、未だ十分ではない。

(2) 従来の旧鈔本研究においては、贋作の辨別及び奥書の資料価値に関する研究は、あまり重要視されていない。

(3) 白居易及び『白氏文集』に関わる資料は、東アジア、特に日本において大量に現存しているが、多くが断片的で、かつ分散しているそれらの資料を、いかに総括して研究するのが問題になる。

(4) 白居易関連研究は、東アジア各国及び各地域、特に日本と中国においては、すでに一定程度の研究成果が蓄積されているが、東アジアにおける白居易研究の変遷史及び『白氏文集』受容史研究において、今なお多くの重要な問題が解決されていない。

## 2. 研究の目的

日本に現存する『白氏文集』旧鈔本資料を利用し、日中に散見される関連資料(石碑、家譜、地方史、古文書、古記録、仏教文献)を広く収集して考証を加える。さらに、東アジア文化圏という視野から、日中独自の漢籍文化の形成過程を整理し、その背景における文化意識の差異を探る。さらに、積極的に国際学会の発表や中国の権威的な学術誌に応募することで、日本に現存する旧鈔本資料及びその価値を広く国外の学者に紹介し、今後の域外漢籍研究に活用し得る形で提供する。

## 3. 研究の方法

(1) 日本に現存する古文書、公家日記などの一次史料を利用し、日本漢籍受容史に関する基礎的研究を進める。

(2) 日本に現存する『白氏文集』の旧鈔本資料を整理し、基礎的な文献研究を行う。さらに、東アジア各地に散見する関連資料を広く調査し、総合的な研究を進める。

(3) 該当分野に関連する中国学者を招聘し、情報交換及び研究成果の確認を行う。

## 4. 研究成果

(1) **日本漢籍受容史に関する資料の整理と研究**：①日本の王権史において、漢籍は常に政治運営を支える最も中心かつ権威的な存在であり、中国書籍史とは異なる特性を有することを指摘した。②三善爲康撰『経史歴』を精査し、そこに記されている百部以上の書籍が、いずれも唐末五代時期の刊本であることを明らかにした。さらに、唐末五代期は、東アジアの第一次黄金期であるとの仮説を提出した。③東大資料編纂所蔵古抄本『関東禅林詩文等抄録』を取り上げ、現在懸案である金沢文庫の創立時期を明らかにし、さらに、金沢文庫は、当初は幕府の公設文庫として設立されたという新説を提出した。

(2) 『白氏文集』周辺資料に関する整理の一環として、平安貴族の教養書として『白氏文集』と肩を並べる『文選』に関する研究：

①東山御文庫蔵九条本『文選』巻一に記入されている眉註・行間註に着目し、現在散佚している『集註文選』の巻頭を復元した。②その成果として、作者と成立時期が未詳であった旧鈔本『文選集注』(国宝)は、大江匡衡の著作であるという新たな事実を明らかにした。③日本の古文献にみえる曹憲『文選音義』の逸文を蒐集し、さらに、これらの資料に基づき、これまで不明であった曹憲の事跡を明らかにした。④明治初期の資料に基づき、従来唐代詩学研究の重要資料と見なされている空海大師筆『文筆眼心抄』(京都山田家蔵)は、西村兼文の手による贋作である可能性が極めて高いことを指摘した。

(3) **日中各学術機関及び図書館に所蔵する白居易関連の文物、文献の調査及び研究**：

①九州国立博物館所蔵の「唐詩残卷、紙背白氏長慶集第廿二」(重要文化財)や旧金沢文庫蔵旧鈔本『白氏文集』(重要文化財)などの、日本に現存する『白氏文集』伝来初期の実態を反映する旧鈔本の研究を行い、七十巻本『白氏文集』の伝来及びその日本での伝承は、会昌の廃仏及び禅宗の東漸と深く関連していることを明らかにした。また、入唐僧慧萼に関する日中の文献資料を蒐集し、南禅院本『白氏文集』の日本伝来の経緯及び普陀洛迦開山における日本王室と慧萼が果たした重要な役割を明らかにした。さらに、その研究成果の一部を、NHK 広島放送局が制作した「歴史ミステリー 平清盛の夢～海上神殿・厳島神社の謎を追う～」(平成24年3月22日BSプレミアム放送)にて紹介した。②令宗允亮撰『政治要略』に抄録されている「白居易伝」の校勘及び研究を行い、白居易の生卒年、家庭環境、成仏問題、『白氏六帖』の成立時期などの問題に関して、従来の定説に多くの誤りが存することを明らかにした。③各機関に所蔵する旧抄本『長恨歌並序』に対して総合的な研究調査を行った。その巻頭に附している「序」が、従来指摘されるような日本人による偽作ではなく、白居易自身の作品であることを明らかにし、併せて現存の諸本に収録される陳鴻の「長恨歌伝」が、あくまで後人により挿入されたものであることを指摘した。④旧金沢文庫本『白氏文集』の各巻末の識語を取り上げ、中世学術史における有益な史料としてその本文を解説し、さらに、奥書にみえる人物及びテキストの考証作業を試みた。⑤日中に現存する「醉吟先生墓誌銘」の諸伝本を蒐集して考察を加え、従来の研究においてこの墓誌銘が、白居易の「醉吟先生伝」と混同されていることを明らかにした。また、「醉吟先生墓誌銘」は、宋代文人による偽文であることを指摘した。⑥日本

中世叢林に関わる旧抄本「新樂府」資料を蒐集して分析し、当時の叢林において、「新樂府」が唱導のテキストとして使われていたことを発見した。⑦旧金沢本の奥書に記されている元稹の逸詩について調査し、さらに『江談抄』に見える全唐詩の逸句及び白居易逸詩を蒐集し、『全唐詩』及び『白氏文集』『元氏長慶集』の更なる補綴を行った。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 19 件)

- ①陳翽「(札記) 元稹佚詩「題虎丘山生公講堂牌」考」、『文学遺産』2009 年第 3 期、104-104、2009 年
- ②陳翽「『政事要略』所収の「白居易伝」を読み解く—白居易の生卒年・家庭環境・成仏に関する諸問題を中心に—」、『白居易研究年報』第 10 号、194-213、2009 年
- ③陳翽「『集注文選』の成立過程について—平安の史料を手掛かりとして—」、『中国文学論集』第 38 号、49-61、2009 年
- ④陳翽「元稹佚詩「題虎丘山生公講堂牌」」、『文献』2010 年第 1 期、167-167、2010 年
- ⑤陳翽「なぜ旧鈔本『文選』に「上文選注表」が冠せられたのか—復元した『集注文選』序文の巻を手掛かりとして—」、『九州中国学会報』第 48 号、31-45、2010 年
- ⑥陳翽「『集注文選』之編纂者及其成書年代考」、『域外漢籍研究集刊』第 6 輯、501-514、2010 年
- ⑦陳翽「三善爲康撰『經史歷』之文献價值叙略—兼論唐末五代大規模刻書之可能性—」、『域外漢籍研究集刊』第 6 輯、321-344、2010 年〔『文学遺産』電子版 2010 年第 4 期に転載〕
- ⑧陳翽「兩宋時期刻本東伝日本考—兼論金沢文庫之創建経緯—」、『西華大学学报 哲学社会科学版』2010 年第 3 期、35-43、2010 年
- ⑨陳翽「慧萼東伝『白氏文集』及普陀洛迦開山考」、『浙江大学学报人文社会科学版』2010 年第 5 期、44-54、2010 年
- ⑩陳翽「新校「白居易伝」及『白氏文集』佚文彙考—以日本中世古文献为中心—」、『文学遺産』2010 年第 6 期、9-19、2010 年
- ⑪陳翽「九条本所見集注本李善「上文選注表」之原貌」、『國際漢学研究通訊』2010 年第 2 期、124-136、2010 年
- ⑫陳翽「蕭統『文選』文體分類及其文体觀考論—以『離騷』與『歌』體爲中心—」、『中華文史論叢』2011 年第 1 期、301-329、2011 年
- ⑬陳翽「王朝公権的威嚴象徴—略談日本漢籍的一個重要特性—」、『中文学術前沿』第 1 輯、54-63、2011 年
- ⑭陳翽「史料としての奥書—金沢本白氏文集

の卷末識語を読み解く」、『旧鈔本の世界』(アジア遊学 140)、153-160、2011 年

- ⑮陳翽「「日藏旧抄本「長恨歌序」真偽考—兼論「長恨歌」主題及其文本伝変—」、『域外漢籍研究集刊』第 7 輯、103-126、2011 年
- ⑯陳翽「白居易「醉吟先生墓誌銘」考—『白氏文集』所収の偽文について—」、『福岡教育大学国語研究論集』第 53 号、37-46、2012 年
- ⑰陳翽「実相院密乗建長四年筆「文集卷第三新樂府」(書影四枚)」、『白居易研究年報』第 12 号、100-109、2012 年
- ⑱陳翽「『江談抄』所収全唐佚詩句彙考」、『域外漢籍研究集刊』第 7 輯、掲載予定、2012 年
- ⑲陳翽「辨偽存真：『文筆眼心抄』古抄卷献疑」、『复旦第三届中国文论国际学术研讨会论文集』、掲載予定、2012 年

[学会発表] (計 12 件)

- ①陳翽「『集注文選』之編纂者及成書考」、第八屆文選学国際研討会、揚州賓館(中国揚州市)、2009 年 8 月 28 日
- ②陳翽「『集注文選』之成立過程について」、第 243 回中国文芸座談会、九州大学(福岡)、2009 年 12 月 12 日
- ③陳翽「『集注文選』成書経緯考」、東アジア漢籍交流シンポジウム、同志社大学(京都)、2009 年 11 月 14 日
- ④陳翽「慧萼東伝『白氏文集』與普陀洛迦開山考」、復旦大学中文系主催「日本九州大学講座」、復旦大学(中国上海)、2010 年 3 月 11 日
- ⑤陳翽「蕭統『文選』文體分類及其文体觀考論—以『離騷』與『歌』體爲中心—、詮釋、比較與建構：中國古代文學理論國際學術研討會、香港中文大学(中国香港)、2010 年 5 月 29 日
- ⑥陳翽「陳鴻「長恨歌伝」と白居易—「長恨歌序」の真偽を問う—」、第 249 回中国文藝座談会、九州大学(福岡)、2010 年 9 月 18 日
- ⑦陳翽「日藏旧抄本「長恨歌序」真偽考—兼論「長恨歌」主題及其文本伝変—」、第 15 屆唐代文学年会暨唐代文学国際學術研討会、南開大学(中国天津)、2010 年 10 月 17 日
- ⑧陳翽「公権與威嚴—略談日本漢籍的一個重要特性—」、清華大学中国語言文学系・講演、清華大学(中国北京)、2010 年 10 月 18 日
- ⑨陳翽「曹憲籍貫行歴新証及其『文選』佚注新考—『集注文選』成書前史研究—」、第 9 屆文選学国際研討会、華東賓館(中国南京)、2011 年 8 月 25 日
- ⑩陳翽「日本伝存「長恨歌序」の再検討—新出の旧鈔本資料を中心に—」、第 250 回中国文藝座談会、九州大学(福岡)、2011 年 9 月 17 日
- ⑪陳翽「旧鈔本「長恨歌序」の真偽—」、第 63 回日本中国学会、九州大学(福岡)、2011 年

10月8日

⑫陳翹「辨偽存真：『文筆眼心抄』古抄卷献疑」、复旦第三届中国文论国际学术研讨会、天益賓館（中国上海）、2011年12月28日

〔図書〕（計3件）

①東アジア地域交流研究会編『から船往来—日本を育てたひと・ふね・まち・こころ』（陳翹「中国の観音霊場「普陀山」と日本僧慧尊」）、中国書店、総319頁（171-185）、2009年6月  
②陳翹『白居易の文学と白氏文集の成立—廬山から東アジアへ—』、勉誠出版、総258頁、2011年4月

③静永健・陳翹『漢籍東漸及日藏古文献論考稿』、総330頁、2011年9月（一部の執筆及び全書の編訳）

〔その他〕

①陳翹『東アジアにおける白居易受容の諸相と日中独自文化の形成に関する研究』（平成21年度～平成23年度科学研究費補助金若手研究（B）研究成果報告書）、総228頁、2011年3月

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況（計◇件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

## 6. 研究組織

(1) 研究代表者

( )

研究者番号：

(2) 研究分担者 ( )

研究者番号：

(3) 連携研究者 ( )

研究者番号：

